

豊富な湯層を発見

斜坑を掘つて揚げる

湯本温泉の復活工事

來年秋頃迄には完成

湯本町は昨廿五日午前十時から役場内に區會を招集、湯本温泉復活に就いて協議した結果、工費七萬五千圓で湯湯斜坑を起工する事に決定、同町懸案の温泉復活問題は愈々本格的第一工程に入る事になった、此の計畫は町當局並に湯本愛湯會が昨年より湯層発見の爲め専門技術者、入山炭礦技師等に囑託して調査研究の結果、湯層は同町三箇地内から驛方面に走つて居る事が判明したので來月早々三箇地内驛行院裏山から品川白煉瓦工場方面に向つて二十四度の傾斜で三百七十間の斜坑を掘鑿し是處に揚水唧筒と鐵管を配して湯湯作業を行ひ往年の湯本温泉を復活せしめる計畫であるが同工事は來年秋頃迄に完成の豫定である

内田鐵相

二日に來平

平小鐵道(の)

路線を選定

鐵道大臣内田信也氏は山形、仙臺等視察の歸途來月二日午前十時卅四分半驛着上り列車で來平直ちに世界館に從業員を集めて一場の訓示を試み自動車を馳つて小名濱商港を視察後片濱を経て再び平町に至り午後三時廿分發上り列車で歸京する豫定であるが今回の來平は目下注目されつゝある平小鐵道の經由路線の選定を主とするものであり鐵道大臣の來平は同氏が初めてである爲め此の機會を誘致するに努めた鈴木代議士を中心とし後藤驛長や青沼町長が歓迎會の催しを協議中であると

豊間漁港

改修準備

既報豊間漁港は去る九月縣工事を完成したが更に町

平町壯丁

入營期日

平町本年度入營兵の入營年月日左記の如くである

◎本籍者

- △一、一、一〇 歩兵二
- 九田町小野信 △一、一、一〇
- 一、一〇 工二新川町三浦
- 正松 △一、一、一〇 工
- 二、一、一〇 輜重兵二特
- 〇、一、一〇 輜重兵二特
- 務兵高月臺飯野盛男 △一、一、一〇
- 一、一、一〇 輜重兵特務兵
- 下川原六二 金成金雄 △一、一、一〇
- 九師團歩兵第七十九聯隊
- 中町高橋義人 △同日同
- 隊 同南町二一山田主税
- △同日第九師團歩兵第
- 七十六聯隊 紺屋町五六
- 水竹正二 △同日同隊
- 同長橋町一九龜岡貞雄
- △同日第九師團山砲兵
- 第廿五聯隊 二丁目星野
- 嘉久治 △一、一、一〇
- 〇第十九師團山砲兵第廿
- 五聯隊北目町柴野貞夫
- △一、一、一〇 獨立守備歩
- 兵六大隊第二中隊 大工
- 町横田一男 △同日同隊
- 同南町一四 大泉正廣

當局並に漁業組合では工費二十萬圓を投じ來年度から三ヶ年繼續の計劃で改修工事を起工し東防波堤百六十間を延長し漁港入口六千坪の浚渫を行ふべく目下準備を進めて居るが同工事は同村の自營工事として行はれる

小名濱町体育

濱町及び同町體育聯盟主催の町民體育大會は來月三日の明治節を卜して同町小學校庭に催されるが書畫、生花等の展覽會も開れると

明日の教育總集會

山田東京高師教授が講演

功勞者を表彰

石城郡教育部會秋季總集會は既記の如く明廿七日午前九時より平第二小學校講堂に開催される、參集會員は約六百名の豫定で定刻後山部會長の開辭、國歌合唱、教育勅語捧讀に次ぎ會務報告あり、役員補欠選舉(副會長一名東部聯合教育會代議員五名)の後、古川縣視學の訓示、左記教育會功勞者及び功績者、表彰、會員の研究發表に移り、小名濱校訓導中根武夫氏の「現代教育哲學の動的全体教育」植田校長石太郎氏の「國史教育に於ける海外發展政策の取扱」平第二校渡邊敬二氏の「少年團に就いて」等あつて高師帝大教授山田榮氏の「陶治論」と題する講演あり閉會の豫定である

内郷軟式

出場チーム

内郷軟式野球大會は東京朝日新聞支局の後援で明廿七日午前七時から磐炭第一、第二、高坂の三球場に開かれ廿七、八の兩日に亘つて優勝カップ爭奪戦を演ずるが出場チーム左の如くである

- 職員會 綴巨人 綴測量
- 新坑 電友 白水 小島
- 峯根 綴鐵 通倉
- 綴トサン 平太郎 宮
- 澤 町田青年 長濱 T
- I W 磐炭運輸課 竹之
- 内 宮商店

刮目される

府縣對抗

試合順編成に 兩部長が協議

磐中平商の庭球選手は本縣代表として職員生徒多數の聲援裡に晴れの神宮目指してけふ出發した、本縣千田體育主事から從來に見られざる強力メンバーとして期待される兩校の陣容は既報の如く

- 平(本) 佐田 (小) 篠原
- 商(岩) 佐田 (篠) 原
- 中(宮) 大川 (大) 野原

平町人事

回出生

- △三丁目當時茨城縣那珂郡 湊町三井男氏二女榮子
- △舊城跡當時内郷村字白水 中島寅一郎氏三男金吾
- △立町八五橋久左衛門氏五男茂さん

回婚 姻

- △小名濱町字定西鈴木行雄氏(二五)大浦村字前原鈴木芳枝(二二)さん

回死 亡

- △研町一三小川弘子(一ツ)さん

二日間双葉中學校講堂に開かれる縣下中學校長會議に出席のため出張する

防火運動

組頭の協議

運動方法

模擬火災や

其他の宣傳

既報平署管内消防組頭會議は本廿六日午後一時より同署會議室に開會、秋季消防檢閲及び防火運動實施等に就いて協議を行ふが協議事項左の如くである

- 一、秋季消防檢閲の件
- 一、防火運動實施の件
- 一、火災警防の件
- 一、組員統制の件
- 一、機械器具保存手入の件
- 一、ガソリン石油類火災警防の件
- 一、消防組員の選舉肅正の件
- 一、記念事業寄附金の件
- 一、協會費納入の件

卅四萬圓が

五年間に烏有

平署管内の火災調べ

平署管内に於ける昭和五年から本年迄五ヶ年間の火災數は百二十回あり焼失家屋が二百三十戸で此の損害高は三十四萬八千六百八十三圓の巨額に達して居る、火災の最も多かつたのは六年の二十三回、五年十七回、本年は未だ十回で損害高を調べると八年の十二萬七千七百圓、七年の十一萬千二百二十八圓等が多い方である

五丁目の

火の見櫓

竣工検査を

平町五丁目立町を貫流する愛谷川の傍らに工費七百八十五圓を以て工事中の火見櫓は昨廿五日竣工したので来る廿八日午前十時より町吏員が竣功検査を行ふ

縣々々頭に

熱田神宮遙拜

官幣大社熱田神宮本殿遷座祭は來十一月一日勅使參向並に儀仗兵御差遣の上執行されるが同宮は草薙神劍を奉齊せる尊貴の社柄なるを以つて同尊劍奉齊の主旨を普く國民に徹底せしむることになり平町に於ても當日遷御の時刻たる午後八時を期して縣社子鐵倉神社で遙拜式を舉行することになり各區長に本日青沼町長より示達した

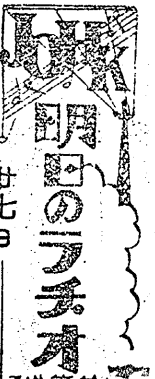
詩を作る

狂美人

失戀の結果か

平署にタクシー横付

昨紙迷ひ子が判つてホットした平署に亦々オヨソ無軌道な美女出現——本日午前八時頃平署に妙齡の狂美人伊達郡立子村大字若ノ内字長澤今朝五郎二女富樫玉子事國島花子(三)が舞ひ込んだ、彼女は素晴らしい美女で昨夜まで郡山市にあつて市民を惱殺してゐたもので今朝午前一時半に郡山市驛前富士タクシーの貸切で平町にやつて来て早速平署に遊びに来たと語つてゐるが女は弱さうでない——妾は相當大盡の才になる息子に目をつけ一生懸命勉強しました、それで餘り勉強が過ぎて神経衰弱になつたので



明日のラヂオ 廿七日 天 今夜も明日と北 東の風次第に雨模様

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- 「歌のお稽古」柴田秀子
- 後六、二五 講演「我々生活と地方財政」猪岡暎
- 後七、三〇 三題斷「しめつたマツチ」警察無電みかん
- 後七、五五 ラヂオドラマ「アルルの女」市川段四郎

明日の部

- 前九、三〇 子供の時間
- 「歌のお稽古」柴田秀子
- 前一〇、〇〇 日曜禮拜同志社創立六十周年記念禮拜
- 前一〇、四〇 科學趣味講演「暖い着物と涼しい着物」棚橋啓三
- 前一一、〇〇 講演「小泉八雲作品の研究者が見た日本」ビー・デー・パーキンス
- 後〇、五〇 滿洲より道教勤行實況
- 後一、〇〇 六大學野球—早慶戦—神宮球場中継—續き全國中等校相撲大會—界大濱相撲場中継
- 後六、〇〇 子供の時間
- 「物語」B.K. コドモサークル
- 後七、三〇 自作朗讀「やぐざ一代萩寺長七」川口松太郎
- 後七、五〇 浪花節「追分三五郎」廣澤虎造
- 後八、二五 俳諧 二郎友香他 香川縣安田村有志
- 後八、四五 獨唱 永井郁子 八本玄智外
- 後九、一〇 ラヂオ小説「荒木又右衛門」市川八百藏

炭坑景氣を追ひ

續々と入り込む

湯本町の人口増加

湯本町は今回の國勢調査の結果戸數三千四百二十一戸人口一萬七千一人と判明したが去る五年度の國勢調査當時の人口一萬五千五百二十八人に比較すると千七百八十人を増加して居る、是れは炭礦景氣を追つて入り込む者が増加した爲めで入山炭礦關係者だけでも實に八千二百人を擁して居る

災害工事

査定官視察

平土木監督所から今回内務省に申請した災害工事箇所調査の爲め本廿六日内務省の上澤査定官が植田町に來郡縣の木村技師、小林平土木監督所長、原草野兩技師の案内で今日明日に郡下の工事箇所を視察する

水道斷水

平町水道部は田町地内の消火栓修

小年赤十字

街頭に進出

明日の交通安全デー

平第一小学校は明日廿七日より三日間に亘つて行はれる交通安全デーに少年赤十字團を街頭に進出せしめ一般の注意を喚起すると

野犬の群れ

山中に潜る

夜間は人家近く

兇暴の限りを盡す

平窪村大字上平窪地内の山中には最近群をなした野犬が出没し食物に窮すると人家近くに現はれ、兎等を



明治太平記

(上段及上段)

(作) 寺島経史

第六十回

運命の星 (八)

「おい、大志賀君、君はバークス君を殺さうといふのか」

「いや、けつして……」

「そのイグレスの素浪人をか」

「あるひはそんなことにもなるかしれません」

「たとひ、素浪人でも、相手がイグレス人であれば困るのは大隈君だろ」

「えい！」

「まあい、府下へかくれて百姓でもするがよいさ、大隈さんが、なぜ困るのです？」

大志賀は、その理由を知つてゐたが、わざと訊ねてみたくなつた。

「いや、とにかく百姓がよい。わしもそのうち薩摩へ歸るよ」

西郷は、縁を立つてそのまゝ室の中へその大きな圖體を消してしまつた。

大志賀は、それを見送つてゐたが、これもまた、やがて奥庭のやみくもに姿を消していつた。



れのおかげで、大志賀の五體は温くかつた。たゞ品川の丁場を脱けて以来一杯のめしにも有付かぬので空腹には參つてゐた。

ある。鐵路沿線警備の邏卒の眼をぬすんで、夜陰ひそかにレールの目くぎを抜き枕木をほり返す不逞の徒があるが、その一徒の首領は脱走人夫の大志賀にちがひない。工率役人たちは眠んで、かくと屯所に訴へ出たものである。

とり苦笑した。

鐵路工事品川丁場を脱走した人夫、實は旗本上りのお尋ね者の大志賀の詮議はさびしかつた。といふのはちかごろ品川街道に敷設された鐵路の破壊を企つるものがしばしばあつたから

がひないといふのが工事役人たちの意見の一致、それと、工事場脱走の大志賀とを結びつけて、つきり彼の仕業だといふことになつた。何しろ、傳馬町牢獄を脱走し築地ホテル館で暴行を働いたといふ不敵の素浪人のことだからこんどの

路破壊などまさにやりさうなことである。——畜生！ 旗本上りの素浪人め——さう呟いて、われこそはその内政攪亂の暴れ者を取押へてくれんと、腕をさする邏卒も多かつた。

う鐵路破壊は内政破壊の第一歩だなどと力むではなかつた。西郷の邸へ忍び込んだあの日から心境の變化は大きかつた。煮えさらぬ西郷に愛想づかししたのではなく、あの涙もろい感情に強い西郷の人間味が、大志賀のこころを動かしたのである。山里にかくれて百姓をしようといふ氣持の一致、これは時勢の敗者の寂しい心境だ。

歯科口腔外科 レントゲン科

院長 東山 齒科 原 精一

原齒科醫院

平町土橋通り
電話三一三番

御料理 折詰

仕出し詰

松茸料理を

始めました

平ニ暮寮墨通り

魚清食堂

原居六三三

只今の値段

スコッチ一オン十銭

並毛糸

霜降毛糸

今年度新色全部揃ひました

ハシモトヤ特製

平編のドレスセーターも澤山揃ひました

平・田町 ハシモトヤ糸店
電話十四番

大倉屋商店

磐城セメント會社特約店

磐城平町五丁目 電話九番九九

9.5 m.m

PONY

CINE-CAMERA ¥ 18.00

PROJECTOR ¥ 17.00

NSHMURAY-YAKUHO

TAIRA-2. TEL 3

耳鼻咽喉科専門

鈴木醫院

醫學士 鈴木 正 男

平町田町(電話五八番)

藤田女學校前

自炊のお需めに應ず入院の便あり

□良品廉賣に勝る商略なし

□確實敏捷はの生命なり